

GAKUMO



学校図書館活用データベースの 意義と活用について

2023年12月16日

高橋菜奈子(東京学芸大学附属図書館)

先生のための、授業に役立つ 学校図書館活用データベースとは？

学校図書館を活用した授業実践をデータベース化

- 2009年から文科省事業として構築・公開
- 東京学芸大学学校図書館運営専門委員会で管理



先生のための授業に役立つ **学校図書館活用データベース**

学校図書館活用DB 授業と学校図書館 読書・情報リテラシー 学校図書館の日常 テーマ別ブックリスト

🔍 **今すぐ授業事例を探す** ... 校種、教科・領域、学年を指定して授業実践を検索できます。

学校図書館は新たな授業づくりを応援します。

このサイトは文科省のプロジェクトとしてスタートしました。学校図書館を活用した授業実践をデータベース化しています。公開されている指導案、ワークシート、ブックリストを新たな授業にお役立ていただければ幸いです。

今月の学校図書館

東京学芸大学附属竹早中学校 もっと詳しく▶

お知らせ

※今年度の文科省事業報告会は、12月17日（土）13時～17時 オンラインでの開催を予定しています。

※東京学芸大学附属高等学校では、第21回公開教育研究大会を11月5日（土）に開催いたします。新型コロナウイルス感

当サイトの使い方

先生にインタビュー

使いこなす情報のチカラ

読書・情報リテラシー

本の魅力を伝えるあれこれ

学校図書館の日常

使えるブックリスト

テーマ別ブックリスト

ちょこっとアイデア玉手箱

司書のお役立ち情報

活かそう司書のまなび

<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/>

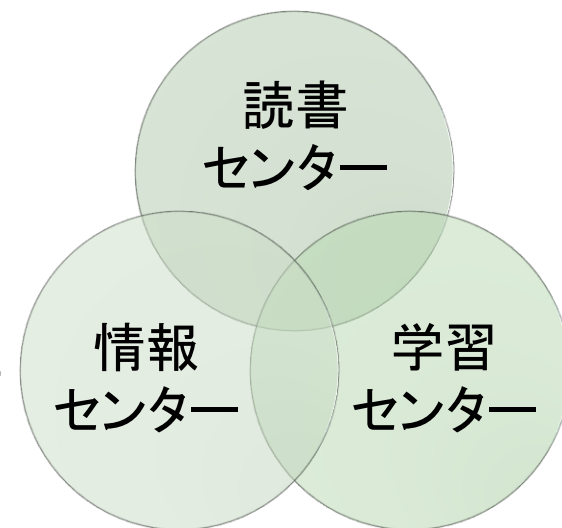


特徴

- 授業実践事例の蓄積・検索
 - 指導案・ワークシート・ブックリスト等を蓄積
- 各種の記事公開による、情報発信
 - 授業と学校図書館
 - 読書・情報リテラシー
 - 学校図書館の日常(トピックス・よみきかせ・ブックトーク・広報・展示・レファレンス)
 - テーマ別ブックリスト
 - 今月の学校図書館
 - ちょこっとアイデア玉手箱
 - 活かそう司書の学び(研修報告)
- 2009年の公開以来、東京学芸大学附属学校のみならず、全国の学校図書館の優良な情報を収集発信。

「先生のための、授業に役立つ」という名称

- 学習センター・情報センターとしての役割
- 学校図書館の機能・役割
 - 児童生徒の「読書センター」機能及び「学習・情報センター」機能という柱を持つ
 - 学校図書館は、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」としての機能を果たす



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/meeting/08092920/1282744.htm (文部科学省Website)

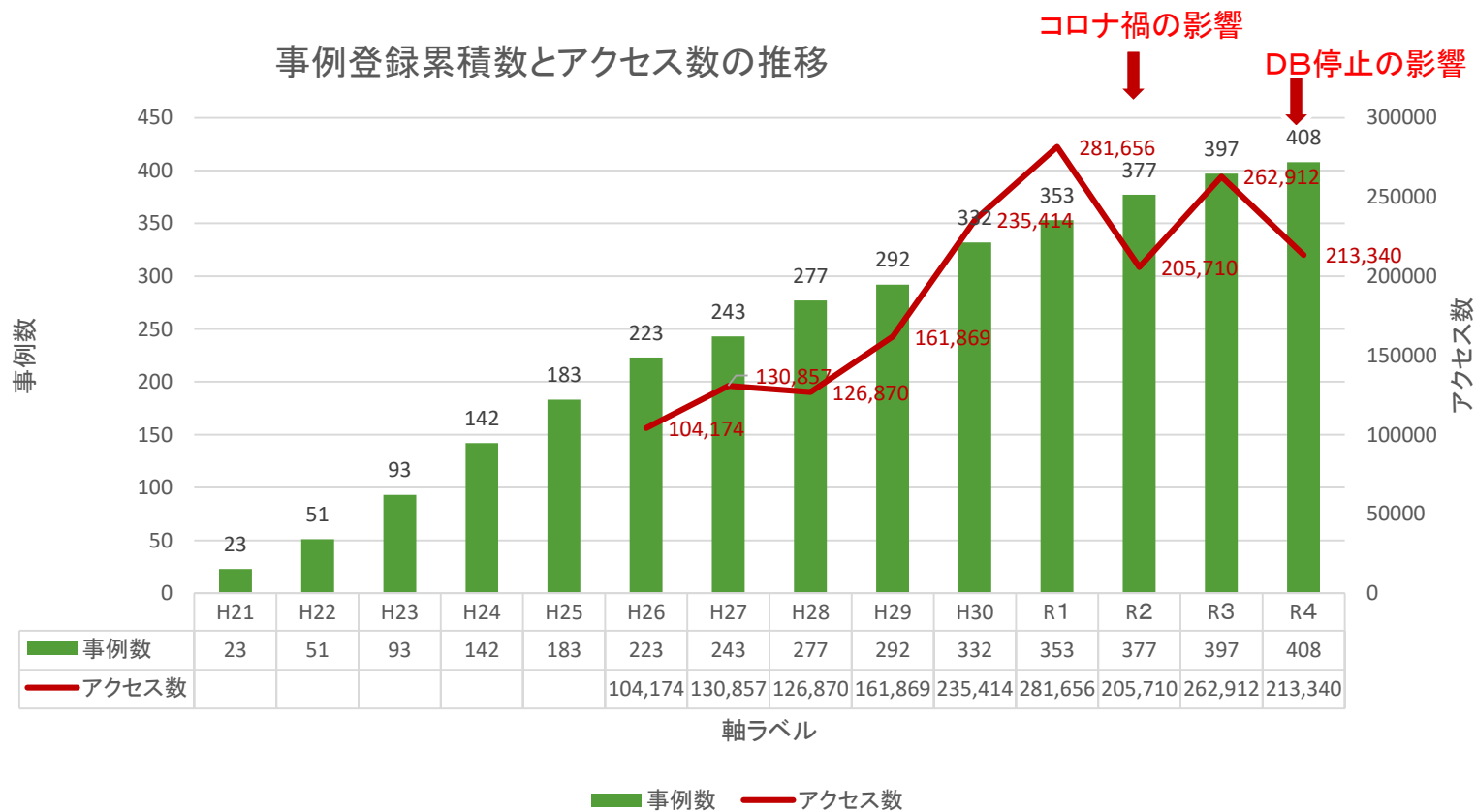
学校図書館活用データベースに 登録された事例の特徴 (R5.2現在)

- 国語・社会・総合学習が多い傾向はあるものの、全て教科の事例蓄積
- 学校・学年について、高校3年生以外、まんべんなく事例蓄積

	小学校			中学校			高校			特別支援	合計
	低学年	中学年	高学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3		
国語	26	15	14	23	27	14	12	14	6	2	153
社会		6	12	11	6	7	3	7			52
数学		1	1	2	3	2	2	1	1		13
理科		4	9	5	4	1	4	1	2		30
生活	6										6
音楽	2	4	4	2	2	1	2	3			20
図工	3	1	1		1		4	3	1		14
保体	1	2		1	1			3			8
技術				2	2						4
家庭科			3	5	5	3	1	10	1		28
外国語			1	1	3	2	2	5			14
道徳	2	1	1	3		2					9
総合	4	6	4	5	5	2	1	5	1	6	39
特活	1	8	2							3	14
情報							7				7
その他	4	1			1			1		2	9
合計	49	49	52	60	60	34	38	53	12	13	420

『みんなで使おう! 学校図書館』vol.14 <http://hdl.handle.net/2309/00174515>

統計数字で見るあゆみ



令和5年度の取り組み

令和4年4月～7月にシステム停止が発生

- 本学のICTセンター情報システムリプレイスにともなうサーバー移行の結果、新しい環境に対応ができなかったため、閲覧・更新ができない事態となりました。ご迷惑をおかけして、申し訳ありませんでした。

令和5年度のアップデート

- 従来からコンテンツ管理システムNetcommonsのバージョンが古いことが課題であったため、サイト全体の再構築・移植を実施。
- 教科書単位と関連するNDCの図書を学校図書館蔵書から検索・閲覧できるシステム「BookReach」と学校図書館活用DBの連携

より良い蔵書構築のために

第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」(R4年1月24日)

文部科学省が策定した、令和4年度から令和8年度を対象期間とする国の基本計画

公立小中学校等の学校図書館を対象に

- 学校図書館図書標準の達成
- 計画的な図書の更新
- 新聞の複数紙配備
- 学校司書の配置拡充

計画に基づいた地方財政措置

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/mext_01751.html

計画の内容 令和4年度→令和8年度

！令和4年度からの5年間で、全ての小中学校等において学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、図書の更新、新聞の複数紙配備および学校司書の配置拡充を図ります。

単年度総額 480 億円 / 5か年総額 2,400 億円

各学校における学校図書館図書標準※達成を目指すための新たな図書の整備に加え、児童生徒が正しい情報に触れる環境整備等の観点から、図書の廃棄・更新を進めるための選定基準・廃棄基準を策定し、古くなった本を新しく買い替えることを促進します。

単年度 199 億円 / 総額 995 億円
(不足冊数分) (更新冊数分)
単年度 39 億円 / 総額 195 億円 単年度 160 億円 / 総額 800 億円

本計画の目標 学校図書館図書標準 100%達成
計画的な図書の更新を実施

学校図書館図書の整備

選挙権年齢の18歳以上の引下げや、成年年齢の18歳への引下げに伴い、児童生徒が主体的に主権者として必要な資質・能力を身につけることの重要性に鑑み、発達段階に応じた学校図書館への新聞の複数紙配備を図ります。

単年度 38 億円 / 総額 190 億円

本計画の目標 小学校等 2紙、中学校等 3紙、高等学校等 5紙

学校図書館への新聞配備

学校図書館の日常の運営・管理や、学校図書館を活用した教育活動の支援等を行う、専門的な知識・技能を持った学校司書のさらなる配置拡充を図ります。

単年度 243 億円 / 総額 1,215 億円

本計画の目標 小・中学校等のおおむね 1.3 校に 1 名配置
(将来的には 1 校に 1 人の配置を目指す)

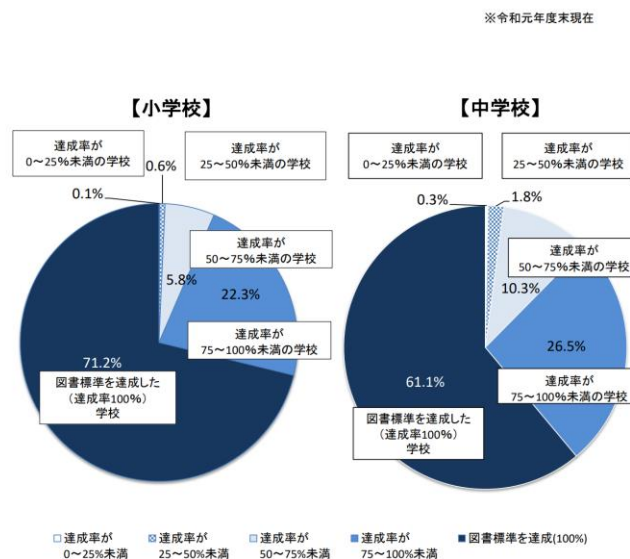
学校司書の配置

※学校図書館図書標準 文部科学省の定める、学校規模(学級数)に応じた最善の整備目標。
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusho/hourei/cont_001_0116.htm

「学校図書館図書標準」達成状況

学校図書館図書標準

- 公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年3月に定めたもの



※学校図書館図書標準の達成率：
各学校における学校図書館図書標準に基づく蔵書冊数の達成割合。

公立学校で未だ
小学校71.2%、中学校
61.1%の達成率
(令和2元年度末時点)

令和2年度「学校図書館の現状に関する調査」結果について(概要)
https://www.mext.go.jp/content/20220124-mxt_chisui01-000016869-1.pdf

学校図書館への予算配分の仕組み

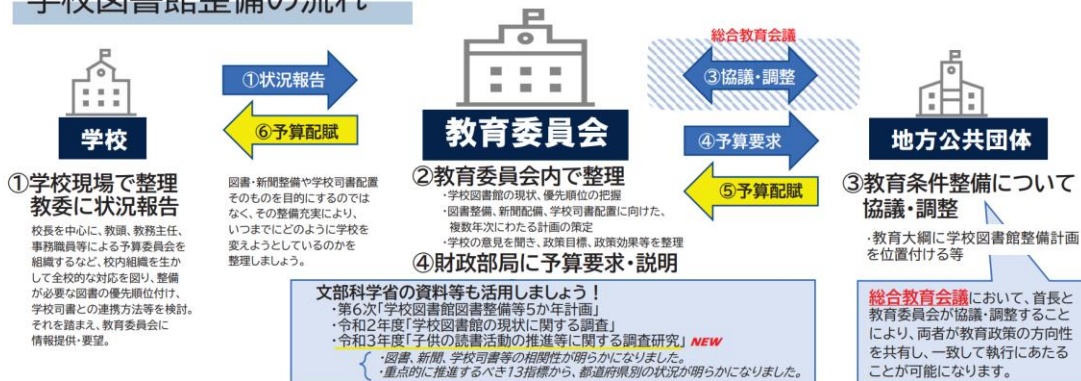
第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づき 学校図書館の整備を進めましょう

学校図書館は、子供たちの主体的・対話的で深い学びを効果的に進める基盤としての役割が期待されています。
第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」(令和4年度から8年度)に基づき、学校図書館図書標準の達成、図書の更新、新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充を進めましょう。
本計画に基づく経費については、単年度480億円、5年間で2,400億円の**地方財政措置(※)**が講じられています。

	①図書	②新聞	③学校司書	合計
本計画の目標	学校図書館図書標準100%達成 計画的な図書の更新を実施	小学校等2紙・中学校等3紙 高等学校等5紙	小・中学校等の おおむね1.3校に1名配置	学校図書館の 整備充実!
単年度措置額 (全国ベース)	199億円	38億円	243億円	480億円

※**地方財政措置** 地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスが提供できるよう財源保障をするもの。
地方公共団体が学校図書館の図書等の整備のために必要な標準的な経費については、普通交付税の基準財政需要額に算入している。

学校図書館整備の流れ



https://www.mext.go.jp/content/20221024-mxt_chisui01-000020025_02.pdf

本来配分されるべき予算の試算

地方交付税算定額の試算方法(令和4年度ベース) あなたの自治体や学校の、図書・新聞・学校司書費として措置されている、地方交付税算定額を試算してみましょう。

<小学校・中学校の例>

ここにあなたの自治体や学校の学級数・学校数を代入しましょう。

算定額はこちらです。予算額と比較してみましょう。

①図書費		小学校	<input type="text"/>	学級	×	40.7 千円 ※1	=	<input type="text"/>	千円
		中学校	<input type="text"/>	学級	×	63.1 千円 ※2	=	<input type="text"/>	千円
②新聞費		小学校	<input type="text"/>	学級	×	3.5 千円 ※3	=	<input type="text"/>	千円
		中学校	<input type="text"/>	学級	×	12.8 千円 ※4	=	<input type="text"/>	千円
③学校司書費		小学校	<input type="text"/>	校	×	1,148 千円 ※5	=	<input type="text"/>	千円
		中学校	<input type="text"/>	校	×	1,106 千円 ※6	=	<input type="text"/>	千円

【地方交付税の算定に用いる標準施設状況】

- ※1 学校図書館図書整備の一般財源(733千円) / 施設規模(18学級) = 1学級当たりの一般財源(40.7千円)
- ※2 学校図書館図書整備の一般財源(947千円) / 施設規模(15学級) = 1学級当たりの一般財源(63.1千円)
- ※3 新聞配備の一般財源(63千円) / 施設規模(18学級) = 1学級あたりの一般財源(3.5千円)
- ※4 新聞配備の一般財源(192千円) / 施設規模(15学級) = 1学級あたりの一般財源(12.8千円)
- ※5 学校司書配置の1校あたりの一般財源 1,148千円
- ※6 学校司書配置の1校あたりの一般財源 1,106千円

【備考】

- ※地方交付税算定額の試算に用いる学級数は、義務標準法に規定する学級編制の標準により算定した学級数です。また、学校数は、学校基本調査規則によって調査した当該年度の5月1日現在における数(在学児童生徒を有しない学校の数を除く)です。なお、補正係数は、考慮していません。
- ※本計画の詳細は、計画本文をご確認ください。

各自治体において、学校図書館の現状把握とそれに基づく適切な予算措置をお願いします。

https://www.mext.go.jp/content/20221024-mxt_chisui01-000020025_02.pdf

学校図書館活用データベースに収録されている図書の実分析

●BookReachの研究・開発チームの研究結果(2018)

「学校図書館の教員サポートにおける授業に関連した資料提供の事例分析」

宮田玲, 矢田竣太郎, 浅石卓真, 日本図書館情報学会誌 64(3) p.115-131, 2018.9

https://doi.org/10.20651/jslis.64.3_115

●2017年8月23日時点での事例を収集

➤事例番号 A0001～A0271 までの271件

➤収録されていた図書6,566件が対象

➤定性分析:オープン・コーディングの手法による分析

➤定量分析:①十進分類(NDC)と②鮮度(出版経過年数)③分量(ページ数)について分析

収録されている図書の分析

① 十進分類 (NDC)

● 教科とNDCに緩やかな対応関係

- 国語: 9類以外は均等に他の類に分散
- 算数数学: 4類の他、5, 7類
- 理科: 4類
- 社会: 2類3類の他、4, 5, 6類
- 音楽: 7類、9類
- 多くの教科で複数の類にまたがっている
- どの教科も8類がほとんどない

宮田：学校図書館の教員サポートにおける授業に関連した資料提供の事例分析 127

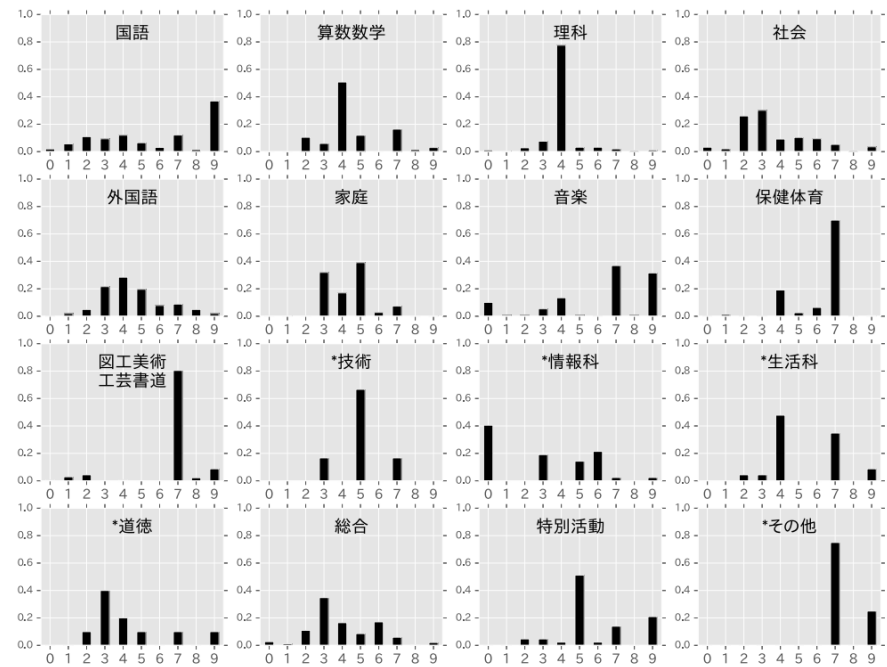
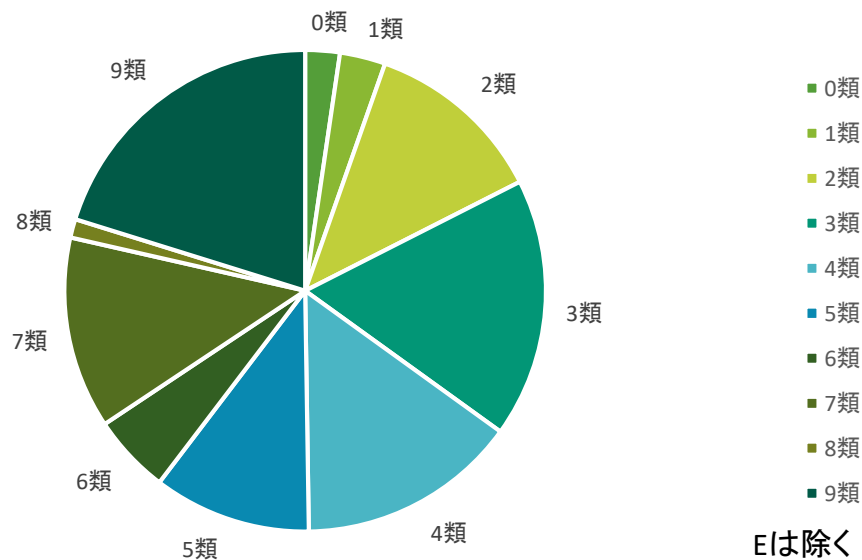


図2 各教科全体で提供された図書のNDC別分布 (横軸: NDCの各類, 縦軸: 相対度数, *は全冊数が50以下の教科)

全体的な分類(NDC)の傾向

※BookReach研究開発チームからデータ提供を受けて集計

データベースに紹介された図書のNDC



◆9類(文学)に偏らない蔵書の必要性

収録されている図書の分析

②鮮度（出版経過年数）

授業実践が行われた年から図書の出版年を引いて、出版経過年数を算出⇒鮮度を分析

- 大部分の図書は20年以内
- 中央値は5～10年付近
- 図工美術工芸書道は比較的古い本が使われている

宮田：学校図書館の教員サポートにおける授業に関連した資料提供の事例分析

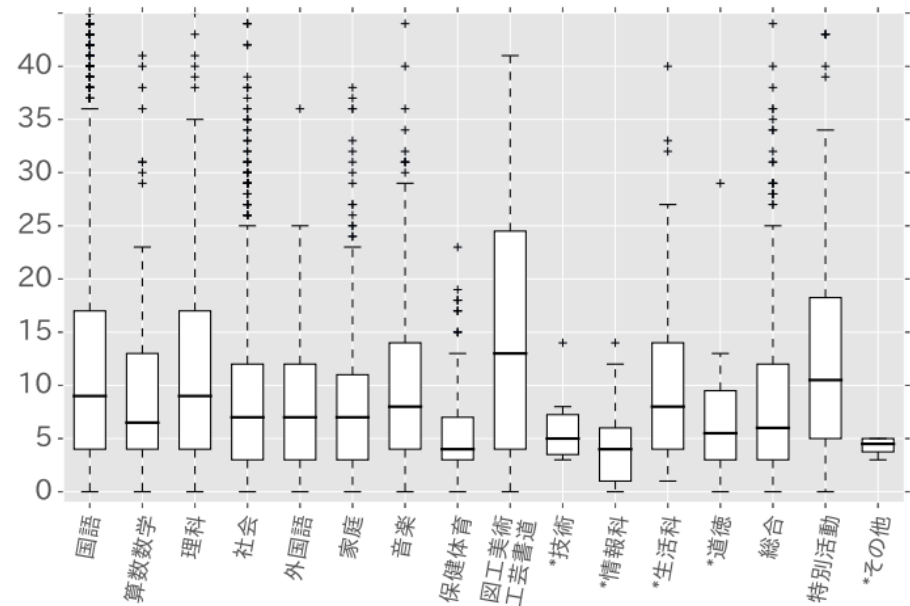
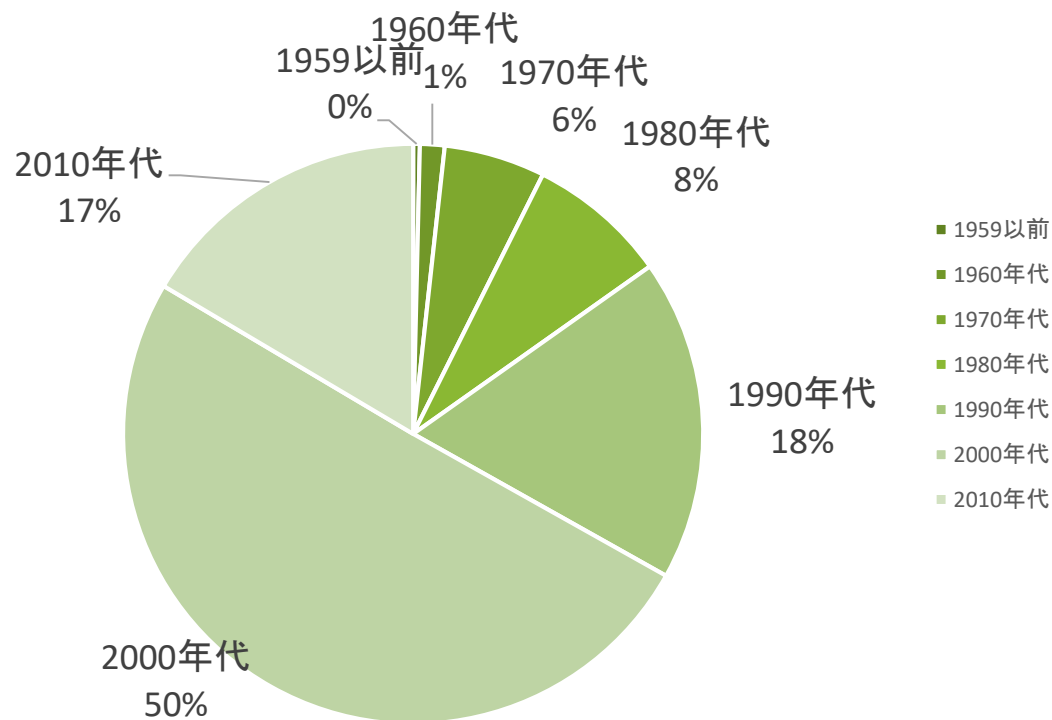


図4 教科ごとの図書の出版経過年数（縦軸）の分布
（*は全冊数が50以下の教科）

全体的な出版年の傾向

※BookReach研究開発チームからデータ提供を受けて集計



◆蔵書は常に刷新していく必要性

学芸大附属の蔵書を知るには (GAKUMOPAC)

コロナ禍でカーリル学校図書館支援プログラムを契機に構築。

東京学芸大学の附属学校10校1園舎と大学図書館に所蔵されている蔵書を統一的に検索できる総合OPACをインターネットで公開。

東京学芸大学学校図書館運営専門委員会で管理

- 児童・生徒はいつでもどこでも自校の図書館の本を検索できる
- 学校近隣の図書館等との総合検索も可



サイトURL: <https://www2.u-Gakugei.ac.jp/~schoolib/gakumopac/>

学芸大附属の蔵書数(R4.12)

学校名	学級	蔵書数	新聞・雑誌	電子リソース
世田谷小学校	18	20,425	8	DB:Mottosokka!
小金井小学校	18	24,702	4	DB:Mottosokka!
大泉小学校	22	13,576	4	
竹早小学校	12	19,138	0	DB:Mottosokka!
世田谷中学校	12	23,689	15	DB:ヨミダス、ルーラル電子図書館、 EB:LibrariE
小金井中学校	12	15,878	6	
竹早中学校	12	13,811	7	DB:Mottosokka!
国際中等学校	24	29,212	23	DB:朝日けんさくん、理科年表、化学 書資料館 EB:OverDrive
高校(世田谷)	24	31,000	70	DB:朝日けんさくん EB:LibrariE
特別支援学校	10	1,159	0	DB:MottoSokka!

より良い蔵書構築のために

- 本来配分されるべき予算を確保しよう
- 蔵書の質を高めよう
 - 学校図書館活用データベースを活用して見直そう
 - GAKUMOPACを参考にして見直そう

◆ ランガナタンの五法則

すべての読者にその人の本を (Every reader his or her book)